香川県商工会地区 中小企業景況調査報告書

2026年度　第1回　（2026年　7月～9月期）

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料及び中小企業施策へ反映させるため、全国商工会連合会が中心となり昭和５４年から四半期毎に全国一斉に実施しているものです。
ＤＩとは、各調査項目について ≪増加・上昇・好転≫ の割合から ≪減少・低下・悪化≫ の割合を差し引いた値で ≪景気動向指数≫ を表しています。

＊　記号とＤＩ値の関係は次のとおり

 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨
３０．１～	１０．１～３０．０	１０．０～△１０．０	△１０．１～△３０．０	△３０．１～

調査対象地区：１５商工会地区

（東かがわ市、さぬき市、小豆島町、土庄町、三木町、高松市牟礼庵治、高松市中央、直島町、綾川町、丸亀市飯綾、宇多津、まんのう町、琴平町、三豊市、観音寺市大豊）

対象企業数：１４９社（製造業２９社、建設業１５社、小売業４３社、サービス業６２社）

県内商工会地区の業種毎の主要項目のあらまし

項目＼業種		製造業	建設業	小売業	サービス業
今期の実績	業況	△１３．８	６．７	△４６．５	△１３．１
	売上額（完成工事額）	△３．５	△６．７	△４０．５	△９．８
	採算	３．５	０．０	△４５．３	△１７．７
	資金繰り	△３．５	△６．７	△３３．３	△６．９
来期の見通し	業況	０．０	△６．７	△５２．４	△２１．４
	売上額（完成工事額）	０．０	△４０．０	△４４．２	△１８．０
	採算	６．９	△２６．６	△３６．６	△１９．７
	資金繰り	△３．５	△２０．０	△３９．０	△１３．８

業　　況

今期の業況は、前年同期に比べて製造業は「ﾏｲﾅｽ域ながらやや好転」、建設業は「好転」、小売業は「大きく悪化」、サービス業は「悪化」としている。また、来期見通しは、前年同期に比べて製造業は「好転」、建設業は「ﾏｲﾅｽ域ながら好転」、小売業は「大きく悪化」、サービス業は「悪化」を予測している。

売上額（完成工事額）

今期の業況は、前年同期に比べて製造業は「好転」、建設業は「更に悪化」、小売業は「大きく悪化」、サービス業は「更に悪化」としている。また、来期見通しは、前年同期に比べて製造業は「横ばい」、建設業は「大きく悪化」、小売業は「大きく悪化」、サービス業は「更に悪化」を予測している。

採　　算

今期の業況は、前年同期に比べて製造業は「好転」、建設業は「好転」、小売業は「大きく悪化」、サービス業は「更に悪化」としている。また、来期見通しは、前年同期に比べて製造業は「好転」、建設業は「大きく悪化」、小売業は「更に悪化」、サービス業は「ﾏｲﾅｽ域ながらやや好転」を予測している。

資 金 繰 り

今期の業況は、前年同期に比べて製造業は「好転」、建設業は「やや悪化」、小売業は「大きく悪化」、サービス業は「やや悪化」としている。また、来期見通しは、前年同期に比べて製造業は「好転」、建設業は「更に悪化」、小売業は「大きく悪化」、サービス業は「悪化」を予測している。

業 種 別 景 気 動 向

【 製 造 業 】

期 ＼ 項 目			業 況	売 上 額	採 算	資 金 繰 り
対前年比	①	2025年 7月～ 9月期	△２０．７	△２０．７	△２０．７	△１７．８
	②	2025年10月～12月期	△１４．３	０．０	△６．９	△１７．９
	③	2026年 1月～ 3月期	３．５	１３．８	△６．９	△６．９
	④	2026年 4月～ 6月期	△１０．４	△１０．４	△６．９	△６．９
	今期	2026年 7月～ 9月期	△１３．８	△３．５	３．５	△３．５
	来期見通	2026年10月～12月期	０．０	０．０	６．９	△３．５

業　　況

今期は、前年同期と比べて、「+６．９ポイント」と、ﾏｲﾅｽ域ながらやや好転している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+１４．３ポイント」と、好転すると予測している。

売上額（完成工事額）

今期は、前年同期と比べて、「+１７．２ポイント」と、好転している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+０．０ポイント」と、横ばいを予測している。

採　　算

今期は、前年同期と比べて、「+２４．２ポイント」と、好転している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+１３．８ポイント」と、好転すると予測している。

資 金 繰 り

今期は、前年同期と比べて、「+１４．３ポイント」と、好転している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+１４．４ポイント」と、好転すると予測している。

【 建 設 業 】

期 ＼ 項 目			業 況	完成工事額	採 算	資 金 繰 り
対前年比	①	2025年 7月～ 9月期	△２０．０	１３．４	△１３．３	△６．６
	②	2025年10月～12月期	△１３．３	０．０	△６．６	０．０
	③	2026年 1月～ 3月期	６．７	６．７	△６．７	０．０
	④	2026年 4月～ 6月期	△２０．０	△６．７	△４０．０	△１３．３
	今期	2026年 7月～ 9月期	６．７	△６．７	０．０	△６．７
	来期見通	2026年10月～12月期	△６．７	△４０．０	△２６．６	△２０．０

業　　況

今期は、前年同期と比べて、「+２６．７ポイント」と、好転している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+６．６ポイント」と、ﾏｲﾅｽ域ながら好転すると予測している。

売上額（完成工事額）

今期は、前年同期と比べて、「−２０．１ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「−４０．０ポイント」と、大きく悪化すると予測している。

採　　算

今期は、前年同期と比べて、「+１３．３ポイント」と、好転している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「−２０．０ポイント」と、大きく悪化すると予測している。

資 金 繰 り

今期は、前年同期と比べて、「−０．１ポイント」と、やや悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「−２０．０ポイント」と、更に悪化すると予測している。

【 小 売 業 】

期 ＼ 項 目			業 況	売 上 額	採 算	資 金 繰 り
対前年比	①	2025年 7月～ 9月期	△３４．１	△２９．５	△２５．６	△２０．９
	②	2025年10月～12月期	△２９．５	△１３．６	△３１．８	△２１．０
	③	2026年 1月～ 3月期	△２２．７	△３１．８	△２７．２	△２５．６
	④	2026年 4月～ 6月期	△３２．６	△３４．１	△３４．１	△２１．０
	今期	2026年 7月～ 9月期	△４６．５	△４０．５	△４５．３	△３３．３
	来期見通	2026年10月～12月期	△５２．４	△４４．２	△３６．６	△３９．０

業　　況

今期は、前年同期と比べて、「－１２．４ポイント」と、大きく悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「－２２．９ポイント」と、大きく悪化すると予測している。

売上額（完成工事額）

今期は、前年同期と比べて、「－１１．０ポイント」と、大きく悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「－３０．６ポイント」と、大きく悪化すると予測している。

採　　算

今期は、前年同期と比べて、「－１９．７ポイント」と、大きく悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「－4．８ポイント」と、更に悪化すると予測している。

資 金 繰 り

今期は、前年同期と比べて、「－１２．４ポイント」と、大きく悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「－１８．０ポイント」と、大きく悪化すると予測している。

【サービス業】

期 ＼ 項 目			業 況	売 上 額	採 算	資 金 繰 り
対前年比	①	2025年 7月～ 9月期	△６．４	６．４	△１．６	△１．７
	②	2025年10月～12月期	△１４．５	△３．２	△２５．８	△５．１
	③	2026年 1月～ 3月期	△１９．３	△６．４	△２４．１	△３．３
	④	2026年 4月～ 6月期	△１１．８	△１１．２	△２７．４	△１１．７
	今期	2026年 7月～ 9月期	△１３．１	△９．８	△１７．７	△６．９
	来期見通	2026年10月～12月期	△２１．４	△１８．０	△１９．７	△１３．８

業　　況

今期は、前年同期と比べて、「－６．７ポイント」と、悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「－６．９ポイント」と、悪化すると予測している。

売上額（完成工事額）

今期は、前年同期と比べて、「－１６．２ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「－１４．８ポイント」と、更に悪化すると予測している。

採　　算

今期は、前年同期と比べて、「－１６．１ポイント」と、更に悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「+６．１ポイント」と、ﾏｲﾅｽ域ながらやや好転すると予測している。

資 金 繰 り

今期は、前年同期と比べて、「－５．２ポイント」と、やや悪化している。
来期の見通しは、前年同期と比べて、「－８．７ポイント」と、悪化すると予測している。

設　備　投　資　の　状　況

【製　造　業】

今期は8企業（調査対象の27.6%）が「生産設備」「OA機器」「その他」に設備投資を実施。また、来期は6企業（対象企業の20.7%）が「工場建物」「生産設備」「車両・運搬具」への設備投資を計画。

【建　設　業】

今期は3企業（調査対象の20.0%）が「建設機械」「車両・運搬具」「OA機器」「その他」に設備投資を実施。また、来期は7企業（対象企業の46.7%）が「土地」「建物」「建設機械」「車両・運搬具」「OA機器」への設備投資を計画。

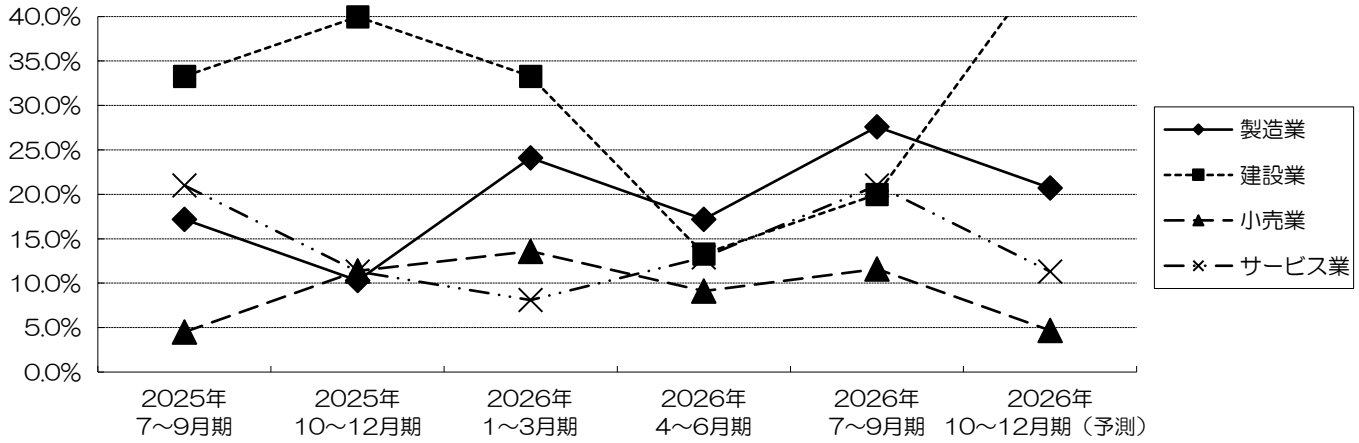
【小売業】

今期は5企業（調査対象の11.6%）が「土地」「店舗」「販売設備」「車両・運搬具」に設備投資を実施。また、来期は2企業（調査対象の4.7%）が「店舗」「付帯施設」への設備投資を計画。

【サービス業】

今期は13企業（調査対象の21.0%）が「サービス」「車両・運搬具」「付帯施設」「OA機器」「福利厚生施設」「その他」に設備投資を実施。また、来期は7企業（対象企業の11.3%）が「土地」「建物」「サービス」「車両・運搬具」「その他」への設備投資を計画。

新　規　設　備　投　資　グ　ラ　フ



経　営　上　の　問　題　点

【１番の問題点として回答された上位３項目】

【製　造　業】

１位	「原材料価格の上昇」
２位	「従業員の確保難」
３位	「需要の停滞」

【建　設　業】

１位	「材料価格の上昇」
２位	「従業員の確保難」
３位	「民間需要の停滞」

【小　売　業】

１位	「大型店・中型店の進出による競争の激化」
２位	「仕入単価の上昇」
３位	「購買力の他地域への流出」

【サービス業】

１位	「材料等仕入単価の上昇」
２位	「利用者ニーズの変化」「人件費以外の経費の増加」
２位	「利用料金の低下、上昇難」

【回答のあった問題点の上位３項目を集計した順位】

【製　造　業】

１位	「原材料価格の上昇」
２位	「人件費の増加」
３位	「従業員の確保難」

【建　設　業】

１位	「材料価格の上昇」
２位	「人件費の増加」
３位	「従業員の確保難」

【小　売　業】

１位	「仕入単価の上昇」
２位	「購買力の他地域への流出」
２位	「大型店・中型店の進出による競争の激化」

【サービス業】

１位	「材料等仕入単価の上昇」
２位	「利用者ニーズの変化」
３位	「店舗施設の狭隘・老朽化」